

平成22年調査結果の概要

● 出生数は増加

出生数は46,818人で、前年の46,084人より734人増加し、出生率は9.3で、前年と同程度であった。

合計特殊出生率は1.44で、前年の1.39を0.05上回った。

● 死亡数は増加

死亡数は46,996人で、前年の44,879人より2117人増加し、死亡率（人口千対）は9.3で、前年の9.0を0.3上回った。

死因順位の1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位は肺炎、4位は脳血管疾患だった。

死亡数に占める割合は、悪性新生物31.4%、心疾患12.3%、肺炎10.8%で、以下脳血管疾患9.2%、不慮の事故3.7%と続いている。

● 自然増減数は減少

自然増減数（出生数から死亡数を減じた数）は-178人で、前年の1,205人より1,383人減少し、自然増減率は-0.0で、前年の0.2を0.2下回った。

● 死産数は増加

死産数は1,366胎で、前年の1,342胎より24胎増加し、死産率[出産（出生＋死産）千対]は28.3で、前年と同程度であった。

● 婚姻件数は減少

婚姻件数は29,247件で、前年の29,419件より172件減少し、婚姻率（人口千対）は5.8で、前年と同程度であった。

● 離婚件数は減少

離婚件数は10,952件で、前年の11,121件より169件減少し、離婚率は2.18で、前年と同程度であった。